

東京女子大学丸山眞男文庫維持運用基金について

東京女子大学では二〇〇〇年七月二七日に、「東京女子大学丸山眞男文庫維持運用基金規程」を制定し、即日施行しました。この基金は、

「丸山眞男氏の功績を広く世に伝えるために用いることを目的とする」(同規程第二条)もので、具体的には、「丸山眞男文庫の維持・管理」「丸山眞男関係資料の収集」「丸山眞男文庫の講演会、研究会及びその他の活動への助成」などの諸活動に「使用」することを予定して創設されたものです(同規程第四条)。

またこの基金は、「丸山ゆかり氏からの寄付金を基礎とし、この基金の趣旨に賛同された方々の寄付金を加えたものをもって当てる」こととしています(同規程第三条)。これまでに牛田尚子、大隅和雄、福田敏一、進藤咲子、室伏信助、入江昭の諸氏をはじめとして、日本思想史学会(会長大隅和雄氏)、丸山眞男先生を偲ぶ会(事務局飯田泰三氏)、受験生父兄などからのご寄付をいただいております。これまでにご寄付いただきました皆様にたいして、この場をお借りして、あらためて篤くお礼申しあげます。

いわゆる大学生の全入時代を間近かに控え、大学をめぐる経済状況

が困難さを増すなか、この基金が、丸山文庫並びに丸山センターの諸活動を支える貴重な財源となっております。基金にたいする多くの皆様からのご理解とご賛同を得られますことを、切に願っております。

なお基金に支えられる丸山センターの活動内容には、「故丸山眞男氏の手稿・ノート類の調査・整理」「丸山眞男関係文献等の網羅的収集」「講演会、講座、研究会、読書会等の開催」「講義の開講」「その他、センターが企画する研究活動」などが含まれています(丸山眞男文庫の発展的構想)。